



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



リスペクト・プロジェクトについて

2009年

(財)日本サッカー協会審判委員会



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



“リスペクト”推進について

- サッカーを楽しむために不可欠な要素として“リスペクト”の精神がある。
- “リスペクト”とは、相手を大切に思うこと、相手に思いやりを持つこと、競技規則を守ること、審判の判定を尊重することで、フェアプレーの原点である。
- 日本サッカー界において、JFAとJリーグが共同で“リスペクト”精神溢れるサッカーを広めていく。



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



“Respect” とは:

- ・ 尊重する
- ・ 感謝する
- ・ 思いやる
- ・ 大切に思う
- ・ 守る
- ・ 遵守する
- ・ 受け入れる
- ・ 理解する



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



“Respect” とは:

Respect : 大切に思うこと

Respect : フェアプレーの原点



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



“Respect”は、誰に対するもの

- フィールド上の人
選手(相手選手、チームメイト)、審判、担架要員、etc.
- フィールド上の人を直接支える人
監督、コーチ、選手指導者、審判指導者、家族、友人、
自分自身、etc.
- “サッカー”を支える人、組織
クラブ、ボランティア、サポーター(観客)、ホームタウン、
学校、地域、都道府県協会、スポンサー、etc.
- 施設等
グラウンド、ボール、様々な用具、ユニフォーム、etc.
- モラル/規範
社会規範、モラル、競技規則、大会規定、etc.



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



“Respect”がないと、何が困る

- ・ 相手に報復する、乱暴な行為をする
- ・ 相手を“敵”と考える
- ・ 相手を傷つけるようにプレーする
- ・ 監督が選手を罵倒する
- ・ 審判に異議を言う、審判に詰め寄る
- ・ 騙す行為(シミュレーション)が発生する
- ・ 競技規則を守らない
- ・ 大会規定を守らない(時間が厳守されない)
- ・ 相手クラブのサポーターを攻撃する
- ・ 少年の試合で親が、審判を、相手選手を、コーチを責める
- ・ 取れた芝を直さない
- ・ 更衣室を汚く使う、傷つける



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



“Respect”プロジェクトで何をする

- ・ フェアプレーの価値を上げる(ex. 本来なら“罰金”不必要)
- ・ 安全でプレーできる試合環境を作り上げる
- ・ 女性や子供でも安心してサッカーを観戦できるようにする
- ・ 審判への異議や抗議をなくす
- ・ 警告や退場の数を減らす
- ・ すがすがしいサッカーを展開できるようにする
- ・ 子供たちがサッカー楽しくプレーできるようにする
- ・ 競技規則の精神が誰にも理解されるようにする
- ・ サッカーのイメージ向上
- ・ サッカーを通じて、人を育てる
- ・ サッカーを通じて人々を幸福にする、地域に貢献する
- ・ サッカー文化を醸成する



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



浸透させるためには

2008年12月JFA理事会:

- ・ リスペクトプログラムの推進決定
- ・ 検討WGの設置: 田嶋専務理事
小野技術委員長
松崎審判委員長
滝井規律・フェアプレー委員長
羽生Jリーグ事務局長



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



様々なプロモーション活動

JFA

- ・技術、審判の研修会等の様々な場面でリスペクトに関する内容を取り入れ、指導者、選手、審判員等への啓発
- ・選手証、競技規則等、大会プログラム、JFA配布物等へのリスペクト・ロゴ表示
- ・リスペクト・ホームページ立ち上げ
- ・JFA主催試合会場におけるリスペクト啓発映像上映



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



Jリーグ

- ・各Jリーグクラブの色を配したリスペクトロゴの作成、活用
- ・Jリーグの試合会場におけるリスペクト啓発映像、ロゴ掲出
- ・“J'sゴール”におけるロゴ掲載
- ・ポスターの掲示



— Jリーグを観戦してくださるみなさんへ。—

いつもJリーグを応援・観戦してくださって、ありがとうございます。
 みなさんの声援に応えるために、少しでも良いプレーを披露したい。
 選手の思いはいつも同じです。
 もっと高い技術を、強いパワーを、洗練されたチームワークを、
 そしてなによりも大切なフェアプレーを。
 ファンのみなさんにも、試合の雰囲気盛り上げるような、
 フェアな応援をお願いしたいと思います。
 そのためにJリーグでは、
 すべての試合で全クラブ共通のルールとマナーを設けています。
 スタジアムを訪れたファン全員が、気持ちよく楽しい時間を過ごせるように、
 みなさんのご理解とご協力をお願いします。
 そして選手のプレーとみなさんの熱い応援が一体となった、
 素晴らしい試合を作り上げていきましょう。

リスペクト(Respect)。---それは幸せなスタジアムをつくる合い言葉です。

— Jリーグ共通観戦マナー&ルール —

守ってほしいこと	くわしい内容
スタジアムに持ち込めない ものがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ●花火、爆竹、発煙筒、ガスホーンなどは持ち込めません。 ●ビン、缶類も、持ち込めません。中身は入口で紙コップに移してご入場ください。 ●ペットを連れての観戦はできません。(盲導犬、聴導犬を除く) ●入場口では手荷物検査にご協力ください。
応援マナーを守ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ●応援の横断幕や垂れ幕は、観戦や試合運営の邪魔にならないよう、決められた場所にとりつけてください。 ●人を傷つけることを目的とした横断幕や垂れ幕を掲げることは、おやめください。 ●2階席、3階席の前方から身を乗り出して大きな旗を振ることは、大変危険なので禁止しています。
試合進行の妨げになることは、 しないでください。	<ul style="list-style-type: none"> ●ホイッスル(笛)の使用は、禁止しています。 ●フィールドにものを投げ込まないでください。 ●フィールドには、絶対に入らないでください。
他のお客さまや、スタジアム近隣の 皆さんに迷惑のかかることは、 しないでください。	<ul style="list-style-type: none"> ●道路に廃物をおいたまま、また道路に立ち止まっての観戦・応援はおやめください。安全のため、道路の確保にご協力ください。 ●観客席は禁煙です。喫煙は、指定の場所でお願いします。 ●周辺のパブリック機関(消防の医療施設等)の駐車場の利用は遠慮下さい。

共通観戦マナー&ルール以外の、個々のクラブ・スタジアムが定めるルールも、守ってください。



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



大切に思うこと

— RESPECT PROJECT —



DREAM



J.LEAGUE



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



審判委員会

- JFAコミュニティでの紹介
- JFA News 関連レポート掲載
- Respectリストバンド審判メンバーに配布（22万人）
- Respectワッペンの制作、配布（審判員に貼付義務付け）
- 製作物への掲載（競技規則、指導者ハンドブック、etc.）
- 研修会、講習会でプログラム展開（含：ディスカッション）
- JFAコミュニティにリスペクトプログラムのページ制作
- グリーンカードDVD
- 審判員による伝導





RESPECT PROJECT
大切に思うこと



審判員の服装に関する規則





RESPECT PROJECT
大切に思うこと



審判員として何をしよう？

- ・ Respectの考えを咀嚼し、理解し、自分のものとする
- ・ 規律を守る
- ・ 正しい判定を下す
 - 競技規則を一貫性を持ち、正しく施行する
- ・ 選手と、チーム役員と良いコミュニケーションを取る
- ・ 寛大さを持つ
 - 人は、ミスをする(本当に理解している?)
- ・ 毅然さを保つ
- ・ 自らを律する

- ・ 相手をRespectする



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



審判員として何をしよう？

審判がリスペクトされるというのは審判にとっての権利ではない。

審判は、競技規則をリスペクトし、対応する選手をリスペクトし、よいゲームコントロールを醸し出すことによってはじめてリスペクトされることを肝に銘じるべき



RESPECT PROJECT
大切に思うこと



“Respect” は、大切なもの

- ・ サッカーやフットサルにとって
- ・ スポーツにとって
- ・ 終わりはない

笑顔

Missionary (伝道者)

